

乳幼児の火傷事故防止対策に関する指針（ガイドライン）の付属（補足）について

●操作ボタンの位置（高さ）について

ウォーターサーバーのデザインが多様化されてきている状況を考慮し操作ボタン位置の高さに関し基準を設けます。

【5.1.5 操作ボタンの位置について】

操作ボタンの高さ（位置）

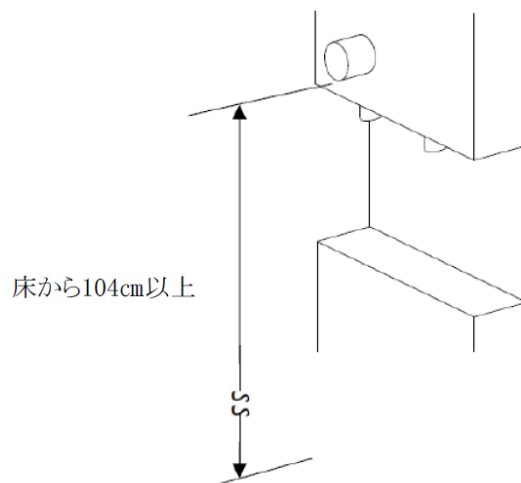
注水ボタンや解除ボタンの位置（ボタンの下部位置）を床から104cm以上の高さに設置することで乳幼児が注水ボタンや解除ボタンに触れることが困難な為、乳幼児火傷対策には有効である。但し、操作ボタンの高さだけで乳幼児の火傷対策の有効性を確保するのでは無く、注水操作を有効化する為の方法を別途（補足参照）設けなければならない。

項目	満1歳児		
	最小	最大	97% タイル
身長(cm)	71.2	84.3	83.0
体重(kg)	9.0	11.9	11.8
到達高(cm)	80.0	104.0	101.2
目の高さ(cm)*	61.2	74.3	73.0



※ 最大到達高（cm）は、背伸びして腕を上には伸ばして届く高さを測定

※ 「ウォーターサーバーのチャイルドロックに関する事故防止策の検討及び取りまとめ」より抜粋



(補足)

5.1.5 で示す構造（注水ボタンや解除ボタンの視認性や高さによる対策）を満たした場合でも、乳幼児の火傷対策の効力を更に高めることが期待できる 5.1.2 表 4 ③～⑫などの構造を設けること

●温水コックボディの緩みについて

温水コックボディの緩み基準値に関しては、注水レバーやボタン操作のような複合的な操作による対策を講じることが出来ない為、安全率を考慮して満3歳の計測値で基準値を設けています。現時点では基準値を 2.1Nm としていますが、組み立て時の作業が困難なことや温水コックボディ本体の耐久性(水漏れ等の二次的被害)が懸念される為、サーバー委員会では、再度検証を行ない、基準値を変更します。

【5.1.6 温水コックボディの緩みについて】



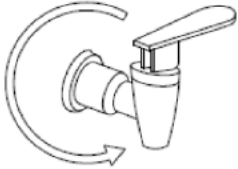
<検証風景>

《検証結果》

トルクレンチを使用して、温水コックボディの締め具合とその力量を検証した結果、満1歳児の最大ひねり力(0.4 Nm)では締め力が弱く乳幼児が緩ませることが可と判断しました。満2歳児の最大ひねり力(0.9Nm)では、大人でも固く感じる抵抗でした。

上記の結果より 5.1.6 温水コックボディの緩みの基準値を 0.9Nm へ変更致します。

ボディがねじ込み式の場合、ボディの緩みひねり力が 5.1.6 表 8-1 の基準を満たしていること

操作	基準値	測定方法
ボディを回す 	0.9N・m 以下で 緩まない こと	7.1.2 試験方法 (2) 試験手順 (2.8) 測定方法

5.1.6 表 8-1

(参考)

計測項目	満1歳児			満2歳児			満3歳児		
	N数	最大	平均	N数	最大	平均	N数	最大	平均
(7)蛇口全体ひねり力 (Nm)	19	0.39	0.21	20	0.81	0.42	20	2.09	1.1

↑ 新たな基準：0.9Nm
↑ 現時点の基準：2.1Nm

※「ウォーターサーバーのチャイルドロックに関する事故防止策の検討及び取りまとめ」より抜粋